

PRESS RELEASE

ユビキタス AI、SDV 開発を強力に支援する SILS ツールのロードマップを発表 ー 車載 Ethernet を基盤とする SDV・自動運転ソフトウェアの検証期間を短縮し効率化 ー

株式会社ユビキタス AI（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：大吉 裕太、以下「ユビキタス AI」）は、Software-in-the-Loop（SILS）方式によるソフトウェア検証ツール「GSIL」について、Software Defined Vehicle（SDV）対応をターゲットとした今後の開発ロードマップを発表します。本ロードマップは、SDV や自動運転の実装が本格化する中で、車載ソフトウェア検証の在り方そのものが変わりつつあるという認識のもと、開発現場が直面する課題への対応として策定したものです。GSIL は、車載ソフトウェア開発における次世代検証基盤として、自動運転をはじめとする高信頼性が求められるシステムにおいて、品質向上と開発効率の両立を実現し、開発期間およびコストの削減に貢献します。

■市場環境と開発の背景

SDV の進展により、自動車はハードウェア中心の構成から、ソフトウェアによって機能が定義・更新される存在へと大きく変化しています。この変化を支える基盤技術の一つが車載 Ethernet です。CASE の進展や E/E アーキテクチャの進化に伴い、ゾーナルアーキテクチャやセントラルゲートウェイを中心とした構成への移行が進む中で、車両内通信には高帯域・低遅延かつ IP ベースの通信が求められ、従来のバス型通信に代わり車載 Ethernet の採用が拡大しています。

一方で、ソフトウェア更新を前提とした車両運用が一般化する中、車載ソフトウェア検証の重要性は一層高まっています。特に、車載 Ethernet を前提とした分散・集中混在システムでは、従来の実機検証だけでは品質確保が困難であり、開発初期から通信を含む挙動を確認できるソフトウェアシミュレーションが不可欠です。

■開発ロードマップのポイント

1. 車載 Ethernet 対応強化

SDV で標準化が進む Ethernet 通信を前提に、高帯域・低遅延が求められる次世代アーキテクチャに対応。

2. 網羅的な自動テスト機能の強化

多様な通信条件や異常系を網羅するテストケースを自動生成し、SDV に求められる高信頼性を効率的

に検証。

3. Linux 環境への対応

CI/CD との親和性が高い Linux 環境へ利用を拡大し、自動テストの効率化と開発フローの高度化を実現。

■組込み機器分野への応用

GSIL が備える仮想実行および自動テストの仕組みは、産業機器やエッジデバイスなどの組込み機器開発においても有効です。ユビキタス AI は、SDV 対応を主目的とした技術開発の成果を生かし、今後は車載分野にとどまらず、組込み機器全般へと適用領域を拡大していきます。

GSIL 製品ページ：<https://www.ubiquitous-ai.com/products/gsil/>

■Open SDV Initiative を主宰する名古屋大学 大学院情報学研究科の高田広章教授のコメント

SDV の早期実現のためには、ソフトウェア開発スタイルの革新によって、激増するソフトウェアの開発効率を向上させることが不可欠です。我々は、ソフトウェア開発効率の向上のためにはビークル API が重要と考えており、業界標準となるビークル API を策定することを大目標に Open SDV Initiative の活動を進めています。Open SDV Initiative 参画企業のユビキタス AI は、長年にわたる組込みソフトウェアビジネスにおける実績と、SILS ツールを自社開発できる技術力の高さとでソフトウェア開発スタイルの革新に貢献いただけることを期待しています。

■7 月 29 日開催 関連ウェビナー

SDV 時代の車載ソフトウェア検証について解説するウェビナーを開催します。

名称	SDV 時代の ECU 検証はどう変わるのか —SDV 開発を加速する SILS 活用の最前線—
日時	2026 年 7 月 29 日（水）14:00～14:20（オンライン/ウェビナー）
主催	株式会社ユビキタス AI
内容	SDV の普及に伴い、OTA（Over The Air）による継続的なソフトウェア更新が標準となりつつあります。これにより、更新のたびに ECU に搭載されるソフトウェアには厳密な検証が求められます。しかし、実機を中心とした従来型の開発では、開発スピードと品質維持の両立は容易ではありません。本ウェビナーでは、SDV 時代に求められるソフトウェア検証について、この度ロードマップを発表したユビキタス AI の「GSIL」とともに解説します。
お申し込み	https://www.ubiquitous-ai.com/webinar/accelerate-sdv-with-sils.html

■今後の計画に関する注意事項

本ニュースリリースに記載された今後の計画や展望は、現時点での構想に基づくものであり、技術的要

因や市場動向などにより変更または実現されない可能性があります。本ニュースリリースの内容は、特定の機能や対応時期を保証するものではありません。

■株式会社ユビキタス AI（証券コード：3858）について

ユビキタス AI は、製造業のお客様を支えるテクノロジーとサービスを提供する企業です。長年にわたる組込みソフトウェアビジネスの実績をベースに、自社開発製品および世界中のソフトウェア製品の販売・サービスにおいて成功を収めています。強みである先進かつ優れたテクノロジーと強固で幅広い顧客基盤を活かしながら、製造業のお客様を支えるテクノロジー・サービスを世界に展開し続けることによって「お客様」「ビジネスパートナー」「社会」の発展に貢献します。

本社所在地：東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 17F

URL：<https://www.ubiquitous-ai.com/>

■投資家の皆さまへ

本ニュースリリースは、ユビキタス AI の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である、決算短信などをご参照ください。

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ユビキタス AI マーケティング&コミュニケーション部（担当：麻生）

TEL：03-5908-3451

Web からのお問い合わせ：<https://www.ubiquitous-ai.com/contact/others/>

※ 本ニュースリリースに記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。